

# ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2011年5月

## ISO/TC61/SC4(燃焼挙動)分野の最近の動向

ISO/TC61/SC4 はプラスチックの燃焼挙動に係るプラスチック共通の試験方法に関する規格を担当しており、現在、5つの追補を含め 27 規格が発行され、6つの開発中テーマ(内 3 テーマを日本担当)で活動している。

幹事国は英国(BSI)、幹事は Mr. Michael、議長は Mr. Briggs(英)、再構成した 3つの作業部会(WG)で、日本を含む 20ヶ国が P-メンバーとして活動に参加している。

プラスチックは電気製品、建材、家庭用品から船舶・車両などの素材として広く用いられていることから、ISO/TC92(火災安全)、IEC/TC89 (電気製品の耐火性)、CEN/TC127 (建築材料の防火)、CEN/TC257(鉄道車両)、IMO(国際海事機関)など関係する分野との連携を深めており、規格の統合化も進んでいる。

本稿では ISO/TC61/SC4 の最近動向及び国内ミラー委員会 [当連盟の ISO/TC61/SC4 委員会：吉田主査(海上技術安全研究所),国内委員会と呼称] の関連する活動状況の概要を記す。

### 1. WG の再構成

昨年 9 月のバンコック会議で、WG の再構成(5WG→3WG)が決定した。

WG2: 再構成無し/WG8: WG1(着火及び燃焼の広がり)と WG3(燃焼発熱)を統合/WG9: WG6(複合材の燃焼挙動)と WG7(中間規模燃焼性試験)を統合。

尚、既に廃止された WG5(中間規模試験, ISO 15791-1)は、再編性前の WG7 に引継がれ、また、WG4(ガイダンス)は、ガイド規格 ISO 10840 の発行に伴い活動テーマが無くなったので、2008 年に廃止されている。

### 2. WG2(燃焼生成物：煙及び腐食性)

コンベンナーは、Mr. Sainrat (仏)で、昨年投票で選任された。「発煙性試験(ISO 5659-1~-3)」、「燃焼生成物による腐食性試験(ISO 11907-1~-4)」等の規格を担当しており、現在 7つの規格が発行されている。発煙性試験の ISO 5659-2 を改訂する作業(仏担当)が DIS 段階に進捗した。

### 3. WG8(着火性と火炎の拡大)

コンベンナーは、Mr. Grayson (英)で、「着火源の分類規定(ISO 10093)」、「着火温度試験(ISO 871)」、「垂直、水平燃焼特性試験(ISO 9772,9773)」、「酸素指数燃焼性試験(ISO 4589-1~-3)」、「燃焼の広がり試験(ISO 12992)」、「燃焼発熱量に関する試験法(ISO 13927, ISO 21367)」、「試験炎による燃焼試験(IEC 60695-11-10,-20)」等の規格を担当しており、現在 12 の規格と 5つの追補が発行されている。

垂直、水平燃焼試験は、日本提案に依る改訂(香月国内委員会委員)が DIS 段階に、ISO 13927(簡易燃焼発熱量測定)の改訂(英担当)が CD 段階に進捗している。

尚、IEC 60695-11-10 と-20 は、IEC/TC89 で改訂作業が進捗中である。

#### 4. WG9(複合材及び中間製品)

コンベナーは、吉田主査で、担当の発行規格は、「複合材の燃焼挙動の一般指針(ISO 25762)」、「中間規模燃焼試験の指針(ISO 15791-1)」の2つで、開発中テーマとして、ISO 1579-1の改正(独担当)と新規制定向けに吉田主査が担当する「複合材の耐火性試験(CD 30021)」の2つがある。

CD 30021 は、2008 年初には DIS へ進捗する段階であったが、ISO/TC92/SC2(火災の封じ込め)/WG10(中間規模耐火性試験)と共同開発テーマとなり、CD 30021 の通則的位置付の規格をTC92/SC2 主導で取進め中に、30021 は、ISO の作業管理システムの都合で、結果的に削除された。昨年9月にTC61/SC4 主導テーマとしてWD 30021 として復活した。一方、通則は、TC92/SC2 主導で、CD 834-12 が DIS へ向け進捗中である(吉田主査担当)。

#### 5. JIS 規格への対応状況

国内委員会は、ISO に対応する 11 の JIS(WG8 と WG2 分野)と対応 ISO の無い2つの JIS を管理してきた。

昨年は、JIS K7193(着火温度)改正版が発効し、対応 ISO の無い JIS K7288(煙濃度及び燃焼ガス測定法)を廃止した。

今後は、対応 ISO の無い JIS K7217(燃焼ガスの分析方法)の改正及び JIS 化していない ISO (ISO 5659-1, ISO 10840, ISO 13927, ISO 21367,他)の JIS 化制定などを検討する予定である。